

福岡県大学・研究者後援会二ユース 130 号

発行：福岡県大学関係者・研究者日本共産党後援会 2026 年 6 月 10 日

事務局：〒812-0018 福岡市博多区住吉 5-6-14

第 27 回総会を開催しました

本会事務局長 堺 英二郎

福岡県大学関係者・研究者日本共産党後援会は 5 月 26 日、福岡県教育会館で、講演会と第 27 回総会を開催しました。参加者は 12 人でした。

司会に貫橋宣夫世話人、総会議長に井上正雄世話人を選出し、開会の挨拶を牧忠孝世話人が行いました。

総会に先立ち、前衆議院議員 田村貴昭氏が、高市内閣の政策に関する評価などについて講演を行い、その中で、高市内閣がとっている政策を批判するとともに、NPT 再検討会議の成果文書案に対する取り組み、アメリカの民主社会主義者との交流、など党が進めている活動を紹介しました。

また、大谷しん子東区県議予定候補が挨拶に立ち、選挙戦に臨む決意を述べました。

総会議案として 2025 年度活動報告、2026 度活動方針を堺英二郎事務局長が、2025 度決算報告・会計監査報告、2026 度予算を小西あや子会計担当が報告・提案を行いました。

2026 年度の役員については事務局長から提案されました。代表世話人のうち平川一郎会員が代表世話人・世話人を退任し、代わりに井上正雄世話人が代表世話人に就任しました。

質疑、意見発表の後、すべての議案は全員の拍手で承認されました。

閉会の挨拶を三輪俊和代表世話人が行いました。



開会挨拶をする牧忠孝世話人

県民の暮らしと人権、平和を守りたい

県議会議席の空白克服へ決意

福岡市東区県議候補 大谷しん子

私は千鳥橋病院の内科の医師として、病院や関連事業所に勤務しながら、2人の子どもを育てています。2015年の安保法制をきっかけに日本共産党に入党しました。

今、アメリカのイラン攻撃の影響で、もともと赤字と人手不足で大変な医療・介護の現場が、さらに追い詰められています。感染予防に必要な手袋が2倍に値上がりしているなど、医療資材の供給制限と値上げが相次いでいます。現場からは「供給が止まれば、患者さんの命を守ることができなくなる」という不安の声を聞きました。他にも建築関係や食品関係など、私たち県民の生活にも大きな影響を及ぼしています。

私は5月、県に対して「中東情勢から暮らしと営業を守る緊急対策」を申し入れました。事業者が何に困っているのかをきちんと調査し、資材の供給管理をすることや、直接支援や税金・保険料の減免などです。今こそ目の前で苦しんでいる県民のために、731億円も貯まっている県の基金を活用すべきだと訴えました。

共産党の議席がなくなったこの3年間、県議会が劣化しています。高額な費用をかけて報告書をまともに出していない議員の海外視察。県政でも、大企業に補助金をばらまいたり、蔵内議長のワンヘルス関連事業に税金を注ぎこむ一方で、物価高騰に苦しむ県民のくらしは後回しです。高市自民党による大軍拡についても、県は国の言いなりです。おとし11月に米軍のあの欠陥機オスプレイが福岡空港に飛来したさい、市街地などの真上を飛行させて県民の命を危険に晒したことに、服部知事は一言も文句を言っていません。



私は来年春、なんとしても県議会の議席空白を克服し、次の3つのことを実現したいと思っています。1) 県民の暮らしと人権、その土台にある平和を守る県政、2) 当事者の声を伝え、だれもが生きやすいジェンダー平等の県政、3) 国にしっかりとものが言える県政です。どうかみなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

日中戦争における加害について (2/2)

大分大学名誉教授 神戸輝夫

(1) 首都南京への途上に於ける鎮江市（江蘇省）での加害

1937年12月8日の早朝、日本軍は鎮江に入り占領した。日本軍は翌9日から全市において殺人、放火、婦女暴行、文物等の略奪を始めた。殺人では、戦後の中国人による調査では約1万人としている。略奪では6000万元相当の物資、石炭5万トン、その他米穀、砂糖、小麦、ゴマ、茶、木材などが奪われた。婦女暴行では、次のような証言がされている。「日本兵は朝から深夜まで隊を組み、銃、ピストル、日本刀を持ち人家に押し入り女を探し回った。女を見つけると獣のように襲いかかった」、「強姦と殺人は日常茶飯事に行われたので、市内には婦女の姿は消えた。ある女性



神戸輝夫さん

は出産直後であったので避難できず強姦された。四人の娘を持つ某家では長女は嫁ぎ不在、四女は未だ幼く、二女、三女が捕まり輪姦された。母親は二人の娘を自殺させようとしたができず、二人を殺害した」。文物の略奪では、「一時期『専門家』が来て書画、古銭を奪い、県立鎮江図書館の古書、古画も対象となった」。放火では鎮江師範、小学校三校、寺院五、繁華街などが消失した。中国人の強制徴用では年齢、職業を問わず、南京に物資を輸送するために使役された。食料徴発では牛、豚、鶏、米、塩、砂糖などが対象となった。（引用は張懌伯著『鎮江淪陥記』人民出版社1999年）

(2) 国宝級の漢籍が略奪された南潯鎮（浙江省）の加害

南潯鎮は金持ちが多く住む町であった。貴重な古書を収蔵した劉承幹の「嘉業蔵書楼」は特に有名であった。この書楼の珍本として宋版『史記』、同『漢書』、同『後漢書』、同『三国志』など宋元明版の国宝級の漢籍が多く収蔵されていた。1938年1月18日、日本軍は南潯を占領した。鎮江と同じように南潯でも殺人、放火、婦女暴行、文物等の略奪が行われた。ここでは特に日本軍の嘉業蔵書楼の略奪について私が現地調査で手に入れた『嘉業蔵書楼与劉承幹』の小冊子には次の記



貴重書を蔵する嘉業蔵書楼入口

述がある。「『彼ら』は嘉業蔵書楼に来ると（中略）宋元明版の珍藏書を箱詰めにし、持ち出した。嘉業蔵書は宋元明版の珍本以外にも地方志の部数において全国地方志蔵書の第三位を占めていた。人々は長年嘉業蔵書楼を垂涎の眼差しで眺めていた。私は『彼ら』が平望から南潯に至ったその早さに疑問を感じずにはおれない。24時間も経たないうちに蔵書を取るために占領を行ったのである」。

『彼ら』が日本軍を指すのは言うまでもない。このような略奪には鎮江の場合も「専門家」が関わっている。特に満鉄上海事務所、上海自然科学研究所、東亜同文書院の所員等が軍によって動員され略奪に関与した。このような略奪行為を私は「文化侵略」と呼んでいる。

(3) 八紘一字の塔の建設に使用された石材

1940（昭和15）年、神武天皇即位記念が皇紀2600年に当たると称して宮崎市に八紘一字の塔が建設された。設計者は大分県臼杵市出身の日名子実三である。



現在、塔の建設に使用した石材は長年の風雨に曝され、石に刻まれた送り主の名は現在判読し難くなっている。それでも辛うじて判読できる石も多い。私が読み取ったものでも100個以上ある。日本の東京市、北海道・府・県から送られた多数の石、植民地台湾（新竹）、朝鮮（慶尚北道・京城・釜山）、満州国（新

宮崎県にある八紘一字の塔

京・奉天市・遼陽市・通化市）、関東州（水産会）、香港（日本人会）、更には、当時の宮崎県知事相川勝六が陸軍大臣板垣征四郎に協力を依頼し、中国各地に駐屯する陸軍部隊から送られた石も多い（山西省酒井隊・湖北省藤井隊・北支秋山部隊・中支志賀中山部隊・南支派遣軍本部）。この他、日本中国友好協会宮崎県連合会の調査によれば南京中山陵、南京明故宮、万里長城、漢口黃鶴楼、上海政府庁舎などの重要文化財とも言うべき建造物から奪ったものもある。戦後、八紘一字の塔は「平和の塔」と名称を変えたが、1965（昭和40）年元の名称に戻された。しかし、八紘一字の塔は文化侵略を如実に示すものと言える。

協力のもとでの競争（1/2）

本会会員 押川元重

学生が取得した科目成績を総合して1つの数値で表すGPAを採用する大学が増えています。GPA（注）が就職や大学院進学へ影響するのではないかと考え、また、それが親に送付されることを気遣い、GPAを少しでも上げるために不得意科目の履修を控えるだけでなく、関心を持った活動に力を注ぐことができにくいと訴える学生が増えています。GPA採用には、学生の学習からの逃避を止めてやろうという「親切心」があるから厄介です。

学生による授業評価は、本来は授業改善の方策の1つであるべきですが、教員評価の管理の道具という側面が強くなっているようです。教員評価も競争ですから、学生による授業評価を授業改善に活かすというよりも評価をアップするための対策をこらす教員も出てきているようです。

30年以上前のことになりますが、国立大学の教養部廃止は大学院拡充とセットとして行われました。当時の「文部省」は、「大学が教養教育を軽視するために教養部を廃止するといふのであれば協力しません」とまで発言しました。その後の経過から見ると、教養部廃止は教養部の教員定員を大学院拡充に充てるためであって、発言はそれにとまって「文部省」が受けるであろう教養教育軽視の批判を回避するためだったのです。大学院拡充の多くは、助手ポストを教授ポストに振り替える形で行われました。それに伴い、博士課程修了者は多くなったのに

助手ポストが少なくなりました。結果として、期限付きの不安定なポストに着かざるをえなくなったため、博士課程進学者が少なくなり、博士課程進学者の中の外国人の割合が高くなりました。そこには、博士課程終了後の競争が大切という、競争重視の考えがあります。

競争があってこそ良いものが生まれる、そのためには管理が必要であるという考えが受け入れさせられます。競争と管理の歯止めはなくなりがちです。それは資本主義の利潤追求、効率追求のカラクリが生み出すものだろうと思います。しかし、競争と管理が生み出す過度な緊張は、それから逃げ出したいという気持ちを生み出します。しかも、競争の敗者だけでなく勝者とみられる人においてもです。難関大学に合格しながら入学しないというのもその一つです。

新自由主義は、企業の社会的責任を放棄してでも株主配当の増額を求める強欲資本を生み出しました。日本には3兆円を超える金融資産を持っている人がいるそうです。ほとんどその人1代で築いたようです。毎日100円ずつ無利子で貯めると100年で300万円余りしか貯まりませんが、3兆円といえば。毎日1億円ずつ貯めて無利子だと100年くらいかかって貯まる金額です。アメリカだと60兆円を超える金融資産を持っている人がいるようです。1代で巨額の資産を築くことができるのは、金融取得の税率が累進制がなく一律20%だからです。この点に格差超拡大のもとがあります。

競争の煽りと管理の徹底は、資本主義的搾取における究極的到達点ではないでしょうか。そうだとすると、管理については、めざす社会主義社会で生かすこともあるでしょうが、「人々の利益に合致する民主的な管理」の方向を示すことが必要です。同じように、激化した競争がもたらす当面の苦難から人々を解放する方向を示すためにも、「協力のもとでの競争」の方向を示すことが必要です。

(次号へ続く)

(注) GPA とは、在学中の成績の平均値を表す指標。授業科目ごとに5段階程度で成績を評価し、段階ごとに割り振られた GP (Grade Point) を平均したものが、GPA (Grade Point Average) である。